

# 平成 2 2 年度事業報告

## 1 国民体育大会への参加

(財)日本体育協会、国及び開催地の都道府県が共同して開催する国民体育大会に、本県代表選手を選抜し、県とともに長野県選手団を派遣した。

### (1) 第 31 回北信越国民体育大会への選手団派遣

8 月 20 日から 22 日までの 3 日間を中心会期として、富山県下で開催された第 31 回北信越国民体育大会に、770 名の選手団を派遣した。

### (2) 第 65 回国民体育大会への選手団派遣

9 月 25 日から 10 月 5 日までの 11 日間、千葉県下で開催された第 65 回国民体育大会に、416 名の選手団を派遣した。

第 65 回国民体育大会の成績は男女総合 14 位 (1138.5 点) 女子総合 16 位 (584.0 点) であった。

### (3) 第 66 回国民体育大会冬季大会への選手団派遣

ア 1 月 26 日から 30 日までの 5 日間、青森県八戸市で開催されたスケート・アイスホッケー競技会に 101 名の選手団を派遣した。

イ 2 月 12 日から 15 日までの 4 日間、秋田県鹿角市で開催されたスキー競技会に、116 名の選手団を派遣した。

ウ 冬季大会終了時の成績は男女総合 2 位 (347.0 点)、女子総合 2 位 (162.0 点) であった。

### (4) 国体選手団ユニフォームの購入助成

国体選手等が本県選手団ユニフォームを購入する際に、費用の一部を助成した。

### (5) 医科学サポート事業

選手がベストな状態で競技に臨めるよう、若手有望選手を中心に、メディカルチェック、巡回サポート、医科学相談等の医科学サポート事業を、関係団体の協力を得て実施した。

### (6) アンチ・ドーピング教育・啓発活動事業

スポーツ選手による薬物の乱用や誤用を防ぎ、健全なスポーツ活動を推進するため、(財)日本体育協会の助成を得て、選手や指導者を対象とした教育・啓発活動を実施した。

#### ○スポーツ医科学サポート会議

9 月 6 日 (月) 長野県スポーツ会館 参加者 52 名

## 2 競技力向上事業の推進

### (1) 国体選手強化事業

国民体育大会において優秀な成績が獲得できるよう、各競技団体と連携し、選手の育成支援や指導者への協力を行うとともに、企業・学校訪問を通じて練習環境の整備、有力選手の確保等の協力を依頼した。

### (2) ジュニア競技力向上事業（重点強化校等特別強化事業）

各競技団体等と連携し、本県の次代を担う素質ある選手を早期に発掘し育成するため、県と連携して中学生強化競技団体、重点強化校・クラブを指定し競技活動を支援するとともに、特別強化校・クラブ等を指定し活動支援を行う等、ジュニアの競技力向上を図った。

○中学生強化競技団体 22 団体

○重点強化校 7 校、重点強化クラブ 13 クラブ

○強化校 108 校（高校 53、中学 12、クラブ 43 クラブ）

### (3) 指導者養成事業

指導者の資質向上と競技力の向上を図るため、中央（(財)日本オリンピック委員会、国立スポーツ科学センター等）の動向や最新情報を取得する「トップ指導者ミーティング」を開催した。

○トップ指導者ミーティング

9月4日（土） 長野県スポーツ会館 参加者 53 名

### (4) 特殊競技用具整備事業

県の助成を得て、単価の高い競技用具を購入し、競技団体へ貸与した。

○スキー競技

ジャンプ ビデオ飛距離測定システム

## 3 SWANプロジェクトの推進

冬季競技において優れた素質を有する競技者を早期に発掘し、国際舞台で活躍できるアスリートを組織的・計画的に育成するため、SWANプロジェクトを、関係競技団体、国立スポーツ科学センター等と連携して推進した。

○実行委員会 2 回開催

○選考部会 9 回開催

○育成部会 6 回開催

○選考会 1 次 11 月 13 日（土） 2 次 12 月 5 日（日）

○開講式 12 月 23 日（木） エムウェーブ 2 期生 18 名

○育成プログラムの実施

## 4 スポーツ活動の普及啓発

スポーツに関する情報を収集し相談に応じるとともに、県民の体力向上及びスポーツの普及啓発を図るため、隔月に「体協だより」及び年刊「体協ながの」を発行し配布した。本会ホームページの活用などによりスポーツに関する情報提供を行った。

## 5 スポーツ少年団の育成

### (1) 組織化の推進

スポーツを通じて健康で明るい青少年の健全な育成を図るため、普及啓発活動や巡回指導を実施し、スポーツ少年団の組織化を推進するとともに、その充実強化に努めた。

平成22年度(9月30日現在)における登録市町村数は48市町村で、単位団数585団、団員18,537名、指導者4,129名となっている。

### (2) 交流交歓事業

ア スポーツ少年団の活発化を図るため、県競技別交流大会や地区交流大会等を開催するとともに、全国スポーツ少年大会、全国競技別交流大会等に参加し、各県の団員との交流を深めた。

- ・県競技別交流大会 7月3日 軟式野球(岡谷市)他9競技
- ・地区交流大会 8月29日 中信(大町市)他3地区
- ・地区競技別交流大会 5月8日 北信(軟式野球)他21競技

イ スポーツ少年団活動における年少団員のまとめ役や、指導者の補助的な役割をになうリーダーの育成を目的とした、ジュニアリーダースクールを開催したほか、国際的視野を広めるための日独スポーツ少年団同時交流事業に積極的に参加し、団活動の活発化と団員の更なる資質向上を図った。

また、ドイツから来県したスポーツユースに対しては、駒ヶ根市スポーツ少年団との交流や、日本の生活習慣・風習等を体験する場を設けた。

## 6 指導者等の育成

### (1) 指導者等の養成

スポーツ少年団活動の活発化と指導者の育成及び資質の向上を図るため、認定員養成講習会等を開催するとともに、全国指導者研究大会や北信越ブロック指導者研究協議会に参加した。

○スポーツリーダー養成講習会兼認定員養成講習会

- ・南信地区 5月29日～30日 伊那市 受講者56名
- ・東信地区 6月19日～20日 小諸市 受講者78名
- ・中信地区 10月30日～31日 大町市 受講者20名
- ・東信地区 11月27日～28日 上田市 受講者88名
- ・北信地区 12月11日～12日 長野市 受講者48名
- ・中信地区 2月19日～20日 安曇野市 受講者73名

## (2) スポーツ指導者の養成及び組織体制の整備

スポーツ指導者の資質の向上を図るため、(財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく指導者養成講習会、研修会を開催するとともに、スポーツ指導者の組織体制の整備を図った。

### ア スポーツ指導者研修会

12月4日(土) 東北信コース 千曲市 参加者 160名

12月11日(土) 中南信コース 松本市 参加者 115名

### イ 指導員養成講習会

・共通科目(通信講座) 144名

・専門科目

陸上競技 : 9月18日(土)～1月5日(水) 5日間

松本平広域公園陸上競技場 参加者 20名

軟式野球 : 11月20日(土)～11月28日(日) 5日間

松本市野球場ほか3会場 参加者 15名

ソフトテニス : 10月31日(日)～12月5日(日) 5日間

松本市勤福センターほか3会場 参加者 15名

弓道 : 7月18日(日)～11月28日(日) 5日間

松本市弓道場ほか4会場 参加者 16名

## 7 社会体育振興事業

地域住民のスポーツへの関心を高め、スポーツへの参加を促すため、各競技団体及び郡市体育協会が実施するスポーツ教室・スポーツ大会に対し支援した。

## 8 スポーツ交流事業

10月16日から19日までの4日間、富山県下で開催された第23回全国スポーツ・レクリエーション祭に147名の選手団を派遣し、17競技に参加した。

## 9 総合型地域スポーツクラブの育成支援

生涯スポーツ社会の実現に向け、(財)日本体育協会事業によりクラブ育成アドバイザーを設置し、県教育事務所と連携し総合型地域スポーツクラブの育成を推進した。

### ○支援クラブ

<2年目クラブ> 7クラブ

(仮称) 高山村総合型スポーツクラブ

大滝村総合型地域SC設立準備委員会

(仮称) 蓼科高原スポーツクラブ

(仮称) ながの北部スポーツクラブ

(仮称) はつらつ千曲クラブ

塩田総合型地域SC設立準備委員会

(仮称) 中条スポーツクラブ

- <1年目クラブ>10クラブ
- (仮称) 岡谷やまびこクラブ
- (仮称) スポーツクラブタップス
- (仮称) 浅間嶺スポーツクラブ
- いきいきスポーツクラブすざか設立準備委員会
- (仮称) 信濃町総合型スポーツクラブ
- (仮称) 天龍100年クラブ
- (仮称) 東和田総合型スポーツクラブ
- (仮称) 木曾ずくクラブ
- (仮称) スポーツシューレ小海

## 10 スポーツ振興功績者の表彰

表彰規程により、体育・スポーツの振興に功績のあった個人及び団体を表彰するとともに、国民体育大会等において優秀な成績をおさめた者に対し記念品を贈り、県民のスポーツに対する意識高揚を目指すなど、スポーツの振興を図った。

### ○スポーツ振興功績者表彰

有功章：個人31名、団体9

栄光章：個人8名、団体1

勲功章：3名

### ○国体等優勝者記念品贈呈

第65回国民体育大会本大会7名

第66回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会12名

第66回国民体育大会冬季大会スキー競技会8名

平成22年度全国高等学校体育大会4名

平成22年度全国中学校体育大会14名

## 11 賛助会員の確保

広く県民から賛助会員を募り、スポーツを振興し、県民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図った。

## 12 関連事業への協力

(1) 県教育委員会が策定した「長野県スポーツ振興計画」（計画期間：平成20年度～24年度・平成20年2月5日決定）に基づき、体育・スポーツ振興施策の推進を支援した。

(2) NPO法人長野県障がい者スポーツ協会、財団法人スポーツ安全協会長野県支部その他関係団体の事業に協力した。

## 13 公益法人制度改革に向けた取り組み

公益法人制度改革3法の制定に伴い、法施行日(平成20年12月1日)より5年以内に法に適合する団体となるため、現在保有する財産を活用しつつ、本会の目的を達成できる新

法人への移行に向けて、定款の変更の案及び諸規程の整備並びに公益法人移行後の最初の評議員及び役員を選任を行った。

○公益法人制度改革検討部会 1回開催